

令和5年度 ライフプランニング学習副読本 『考えようふるさと秋田とわたしの未来』 特別支援学校における活用状況調査集計結果

調査対象：県内特別支援学校 15校（国立大学法人立：1校、県立：14校）

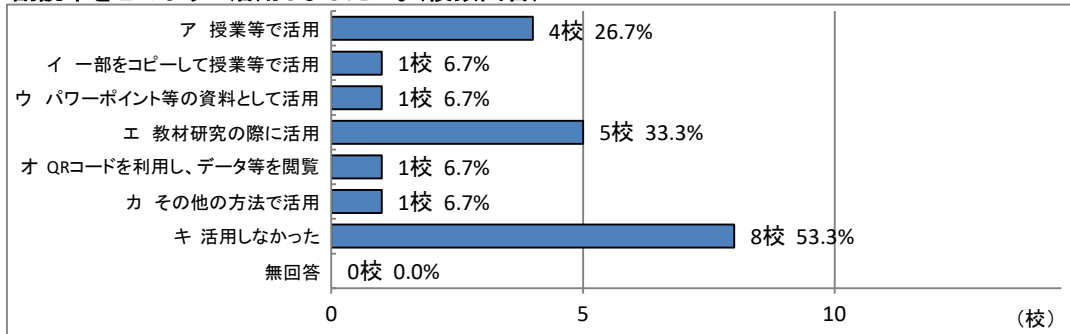
※分校を含む。

◎回答率 100.0%（回答15校／対象15校）

◎活用率 46.7%（活用 7校／回答15校）

問1 副読本をどのように活用しましたか。（複数回答）

※回答があった15校中



活用方法「カ その他の方法で活用」の主な回答（類似の回答を統合し、主旨を簡略表記している。以下同じ。）

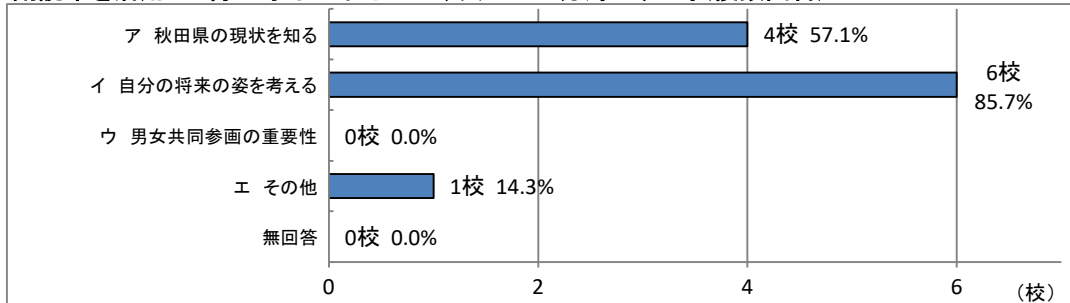
- ・地域の良さを学習するときの参考に活用

活用状況「キ 活用しなかった」の主な理由

- ・児童生徒の実態差が大きいため、学部全体の授業で活用するのが難しい。
- ・児童生徒にとって内容がそのままでは難しい。
- ・児童生徒の実態に合わせた教材が効果的である。理解度等に応じて別の同等の教材や資料を使用している。

問2 副読本を活用した際の学びのねらいは、次のどの分野ですか。（複数回答）

※活用した7校中



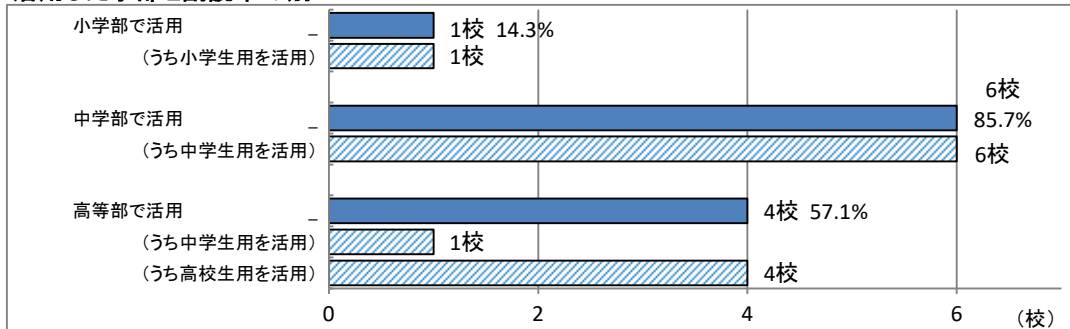
学びのねらいの分野「エ その他」の主な回答

- ・所在市の大きさや名物などについて調べる、考える。地域学習。

問3 活用した学部、副読本の別、活用した場面をお答えください。

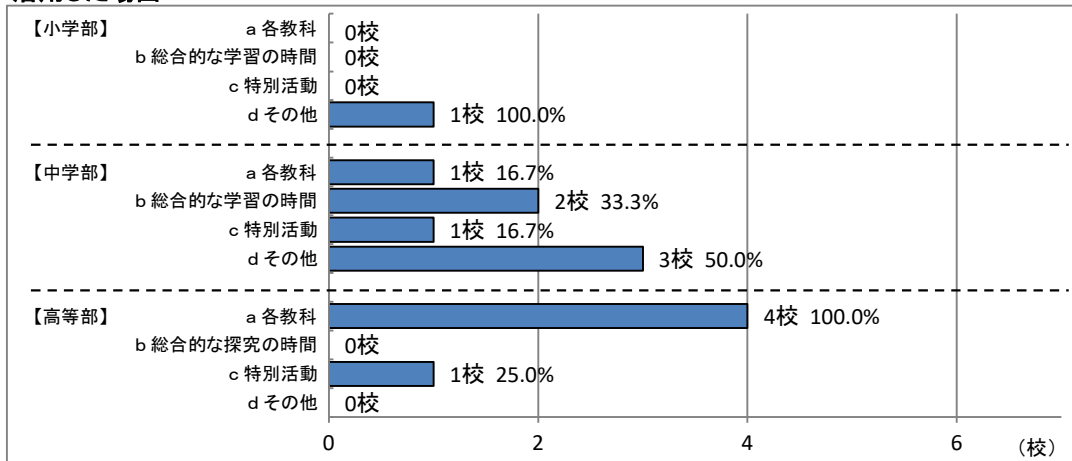
活用した学部と副読本の別

※活用した7校中



活用した場面

※学部ごとの活用した学校(小学部1校、中学部6校、高等部4校)中



活用場面「a 各教科」の主な回答

【小学部】・職業

【中学部】・職業
【高等部】・職業総合(学校設定教科)

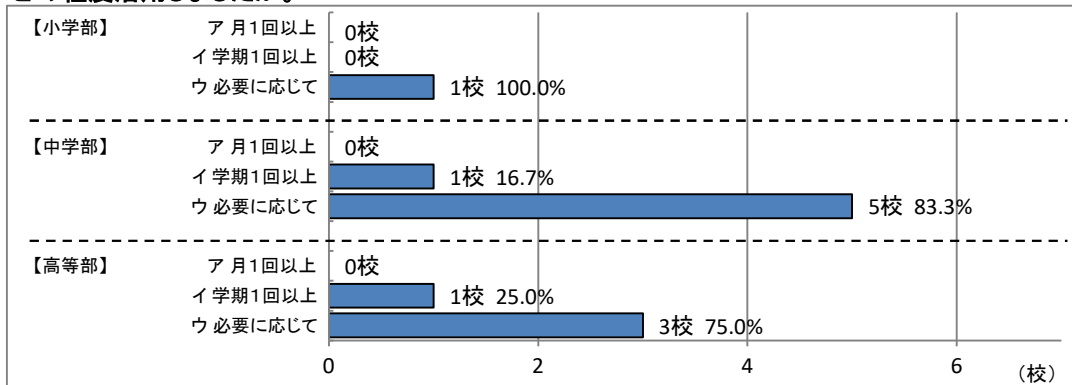
活用場面「d その他」の主な回答

【小学部】・生活単元学習

【中学部】・生活単元学習

問4 どの程度活用しましたか。

※学部ごとの活用した学校(小学部1校、中学部6校、高等部4校)中



「イ 学期1回以上」の活用頻度

※「イ 学期1回以上」の回答校(中学部1校、高等部1校)中

活用頻度	小学部	中学部(1校中)	高等部(1校中)
一学期当たり1回程度		1校	0校
一学期当たり2回程度		0校	1校

「ウ 必要に応じて」の活用頻度

※「ウ 必要に応じて」の回答校(小学部1校、中学部5校、高等部3校)中

活用頻度	小学部(1校中)	中学部(5校中)	高等部(3校中)
年間1回程度	1校	0校	1校
年間2回程度	0校	2校	1校
年間3回程度	0校	1校	1校
無回答	0校	2校	0校

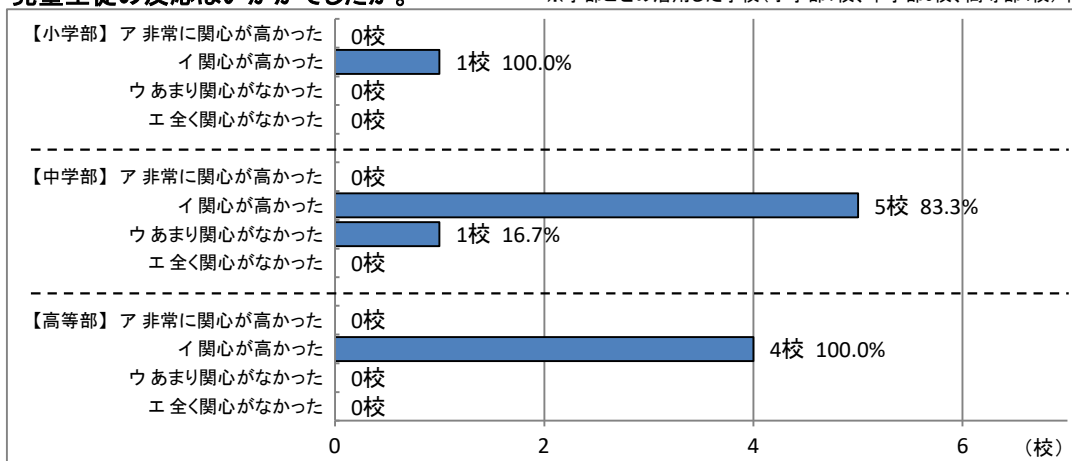
「ウ 必要に応じて」活用した学校での活用機会等についての主な回答

【小学部】・進路単元、進路学習

【高等部】・進路学習

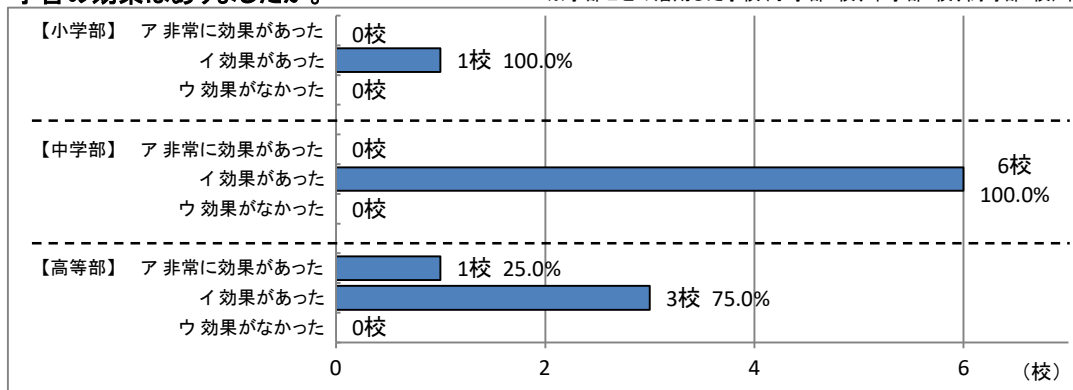
問5 児童生徒の反応はいかがでしたか。

※学部ごとの活用した学校(小学部1校、中学部6校、高等部4校)中



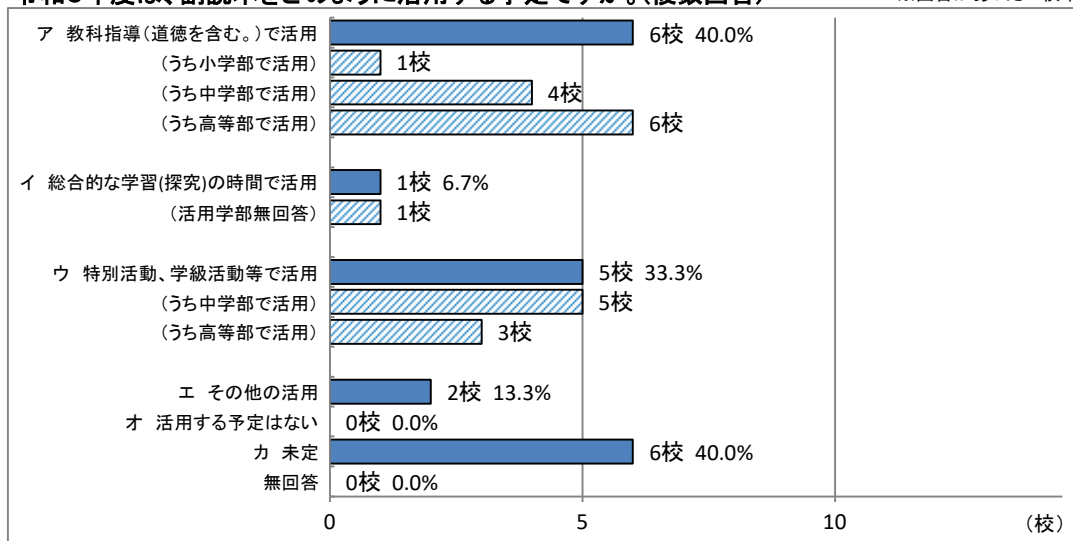
問6 学習の効果はありましたか。

※学部ごとの活用した学校(小学部1校、中学部6校、高等部4校)中



問7 令和6年度は、副読本をどのように活用する予定ですか。(複数回答)

※回答があった15校中



活用方法「エ その他の活用」の主な回答
・生活単元学習

問8 副読本の内容等についての感想、意見等を自由に記入してください。

添付「問8 副読本の内容等についての感想、意見等(特別支援学校)」を参照

問8 副読本の内容等についての感想、意見等（特別支援学校）

とても良い内容だとは思いますが、小学校低学年や知的障害のある本校児童には活用が難しい内容だと思われる。
小学部生にとっては、内容が少し難しいように思います。 写真が多いと児童にとってより分かりやすく興味をもてるのではないかと思います。
特別支援学校の中学生としては、年齢的な面ではいいと思うが、知的障害者にはもう少しテーマを絞ってより具体的にしたい。（i P a dにデータとして掲載してもよいかも） 今年度は活用できなかったが、次年度はその活用について計画的に進めたい。 写真がカラーで多くあり、子どもたちが興味・関心をもつことにつながった。
地域の自然や人、物を生かした学習活動を展開しており、自分たちの住む秋田県について写真やデータを踏まえ、資料として確認するために活用することができた。また、自分のことについて考える学習を行っているが、ワークシート等参考にして授業を行っている。
職業の学習の中で、将来設計はとても重要な内容である。副読本を活用しながら将来設計について学習する機会として今後も活用していきたいと考えています。
秋田の情報が大変詳しく載っているので、学習の資料として部分的にでも活用できるよう検討する。
十分に内容について理解し、指導の補助資料として活用する方法を検討したい。
秋田県の現状を知り、自分と結びつけて考えられるところがよかった。 ワークシートをダウンロードして活用できてよかった。
各学部に配付し、学級担任にも紹介しています。直接の活用は難しいですが、第2章、第3章は、進路学習（生活単元学習・職業）、特別活動、自立活動などで、参考になる部分もあります。
秋田県や地域の学習を行ううえで参考になりそうな部分もあるが、児童生徒に合わせた教材を使用するほうが効果的なことが多い。
視覚障害のある生徒にも活用しやすいように、資料について、点字データまたは音声で読み上げ対応できるテキストデータがあれば良い。